Listening & Dictation!!4-1(chunks)

○空いているスペースにあてはまる単語や語句を、教科書を見ないでうめてみよう!意味のまとまいに気を付けてみてね!

Mother Teresa began her work /	egan her work /	/ in Koll	/ in Kolkata / in 1948
マザー・テレサは仕事を始めました		子どもたちのために コルカタで	7で 1948 年に
In some parts of th	In some parts of the city, / the people were very poor / and /	very poor / and /	
その都市のいくつかの地域では	ずでは、人々がとても貧しく	N< 70%	
		/ for 1	/ for their childrer
—————————————————————————————————————	学校もありませんでした	₹ 1	子どもたちのための
Mother Teresa gat	Mother Teresa gathered together / some children /	nildren /	
マザー・テレサは集めました	長めました 子どもたちを	らな	
			/ to them
	そしてアルファベットを教えました	11.1	彼のこ
It was not easy /			
それは簡単ではありませんでした	なぜなら		
	they had no pens /		
	彼のにはペンもなく	ノートもなかったからです	らです

Listening & Dictation!!4-2(chunks)

句を、教科書を見ないでうめてみよう!意味のまとまいに気を付けてみてね!	- Moine ielesu. 何人かの修道女が加わりました マザー・テレサに	/ were her former students.	以前の生徒でした		一生懸命働きました	/ of many homeless children.	多くの家のない子どもたちの	/ sick people and old people / too.	病気の人や年をとった人々の もまた	smile. / Don't only give your care, /	ただ世話をするのではいけません	/ as wel	心をこめなさいもまた
○空いているスペースにあてはまる単語や語句を、教科書 ○vor +bo nov+ fow voors /		M /	彼女たちの多くは	Mother Teresa and these Sisters /	マザー・テレサと修道女たちは		彼女たちは命を救いました	/ sic	彼らは世話をしました源	She said, / "Always have a cheerful smile. / Don't only give your care, /	彼女は言いました いつも笑顔でいなさい	/ pnq	それだけでなく

Listening & Dictation!!4-3(chunks)

○空いているスペースにあてはまる単語や語句を、教科書を見ないでうめてみよう!意味のまとまいに気を付けてみてね!	/ the Missionaries of Charity	神の愛の宣教者会を	/ with joy. / Say yes to peace."	喜びをもって 平和を求めなさい	/ the Nobel Peace Prize.	ノーベル平和賞を	even now, /	しかし今でも	re working /	10ます 世界中で	/ in Japan / too.	الم	/ they have a house / for homeless children / in Tokyo	:す 家のない子どもたちのための 東京で
単語や語句を、教科書を見ない	Mother Teresa	マザー・テレサは始めました		貧しい人たちのところに行きなさい	/ th	彼女は受賞しました	/ in 1997, / but even now, /	1997年に しか	the missionaries are working /	この会は活動しています	/ in Jo	· ド ド 日	_// they have a hous	彼らは施設を運営しています
○空いているスペースにあてはまる単	In 1950, / Mother	1950年に マザ	Its motto is / "	そのモットーは(貧しい人)	In 1979,	1979年に 彼女は受		彼女は亡くなりました				彼らは活動しています		たとえば

- 資料3-

Answer Making!! (4-1)

Tack1	教科書本文の質問に英語で答えよ	う フテッフにそって	正しい英文を作っていこうし
rashr.	が行首 ギスツ貝川に大田 こうんい	' /o ハーツ MIC C フ C 、	

\bigcirc 1.	When did	Mother Teresa <u>begin</u> her worl	τ ?
A1.			
[step1]	いつう [に]	の上に入れよう。(2語)	
1.			
[step2]		^{した} 」 の上に入れよう。(1 語)	K
2.			
[step3]	が 何をしたの?	_{した} 「した」 の上に入れよう。(過去形にし ⁾	に てね) 完成!
3.			
\bigcirc 2.	どこ	l Mother Teresa <u>begin</u> her wor	k?
A2.			
(step1)	どこ? 「で」	の上に入れよう。(2語)	
1.			
[step2]	が だれが?「が」	^{した} の上に入れよう。(1語)	で
2.			<u>.</u>
[step3]		した 「 した 」 の上に入れよう。(過去形にし	で てね) 完成!
3.			•
	が	した	で



What did Mother Teresa do for some children?

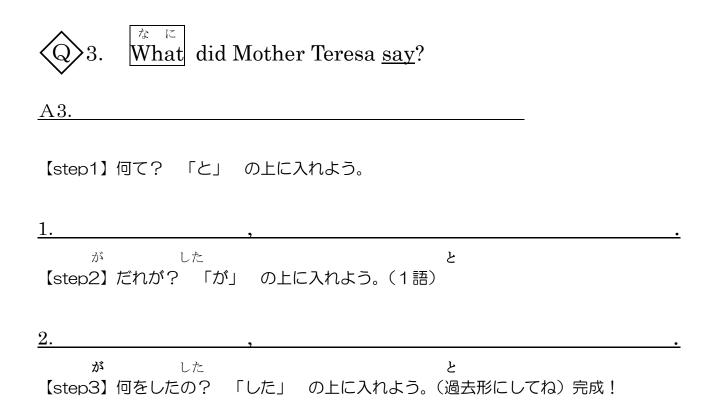
<u>A3.</u>				
[step1]	何をしたの)? [[た」 の上に入れよう。(過去形にしてね)	
1.				
	が	した	K	
[step2]	だれが?	「が」	の上に入れよう。(1語)	
2.				,
	が	した	K	
(step3)	だれに?	「に」	の上に入れよう。(2語)完成!	
3.				
	が	した		

Answer Making!! (4-2)

Task1	教科書本文の質問に英語で答えよう。	ステッフにそって	正しい英文を作っていこう!
raskr.	が行って、ヘッス川に大品したんり、ノ	ハイイかししつし	TO A IN TO ILITER IC A I

তি ক Who joined Mother Teresa?

A1.							
[step1]	誰が?	「が」 σ)上に入れよう。	(2語)			
1.					•		
	が		の上に入れよう	した う。完成!			
2.					•		
	が			した			
Q 2.	な What		other Teres	a and Sis	ters <u>do</u> ?		
A2.							
[step1]	なにを?	「した」	の上に入れよ	くう。(1語)			
1.					of many	homeless	children.
[step2]		した 「を」 σ.)上に入れよう。	を (2語)			
2.					of many	homeless	children
[step3]	が だれが?	した 「が 」	の上に入れよう	を う。(1語)	完成!		
3.					of many	homeless	children
	が	した		を			



ځ

した

が

いっ

Answer Making !! (4-3)

Task1. 教科書本文の質問に英語で答えよう。ステップにそって、正しい英文を作っていこう!

Q>1.	When did Mother Teresa start the Missionaries of Charity?	
A1.		
[step1]	いつ? 「に」 の上に入れよう。(2語)	
1.	•	
[step2]	が した に だれが? 「が」 の上に入れよう。(1語)	
2.	•	
[step3]	が した に 何をしたの? 「した」 の上に入れよう。(過去形にしてね)完成!	
3.	<u>.</u>	
Q 2. A2.	が した に Where are the missionaries working?	
[step1]	どこ? 「で」 の上に入れよう。(4語)	
1.		
್ರೆ (step2)	している で だれが?「が」 の上に入れよう。(1語)	
2.		
が 【step3】	している で 何をしたの? 「している」 の上に入れよう。(2語) [波線に注目!] 完	成!
3.	<u>.</u>	
が	している	

\wedge	な
$\langle Q \rangle 3.$	W
\sim	

な What

That do they have for homeless children in Tokyo?

A3.

【step1】何を? 「を」 の上に入れよう。

1.

が する **を**

【step2】だれが? 「が」 の上に入れよう。

2.

が au_{50} を au_{50} 【step3】なにを? 「する」 の上に入れよう。 完成!

3.

がするを

QuickQuestions and Answers !! (4-1)

Task1.教科書の内容についての質問をペアで行おう。正しく答えてみよう!!

② 1. When did Mother Teresa begin her work?

A1.
② 2. Where did Mother Teresa begin her work?

A2.
② 3. What did Mother Teresa do for some children?

A3.

QuickQuestions and Answers!! (4-2)

Task1. 教科書の内容についての質問をペアで行おう。 正しく答えてみよう!!



A1.

2. What did Mother Teresa and Sisters do?

A2.

 \bigcirc 3. What did Mother Teresa say?

<u>A3.</u>

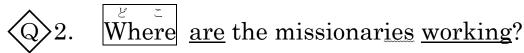
QuickQuestions and Answers !! (4-3)

Task1. 教科書の内容についての質問をペアで行おう。 正しく答えてみよう!!

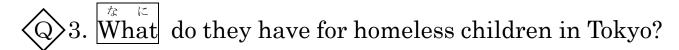


the Missionaries of Charity?

A1.



A2.



A3.

7 SENTENCE WRITING!!

○夏休みに体験したことや、それについて感じたことや思ったことを英語で書いて みよう!モデル文を参考に!文と文のつながりや語順に注意しよう!

1. I'm going to talk about my summer vacation.

(夏休みのことについて話します。)

2. I went to Niigata with my family,

because my children love the sea and fishing.

(私は家族と一緒に新潟へ行きました。

なぜなら子どもたちが水泳とつりが大好きだからです。)

だれが・どこへ・なぜ

3. We stayed there from August 6 to 8.

(私たちは8月6日から8日までそこで過ごしました。)

いつ

4. We swam and went fishing in the morning.

(午前中は、泳いだり、つりをしたりしました。)

<u>いつ</u>・なにを

5. We saw many fish in the sea,

but we couldn't get them.

(海ではたくさんの魚を見ましたが、採ることはできませんでした。) <u>どこで</u>・なにを

6. In the afternoon,

we enjoyed BBQ and fireworks very much.

(夕方は、バーベキューや花火をとても楽しみました。) <u>いつ</u>・なにを・どのように

7. I think we can go to Niigata next year,

and we want to try many things.

(来年も新潟へ行き、多くのことに挑戦したいと思います。)

【ワードバンク!!・ヒント集】

L4. (4行目) <u>swam</u> : (泳いだ・swim の過去) L5. <u>get</u>: (とる・ゲットする)

L6.<u>BBQ</u> : (バーベキュー)

L7. $\underline{I \ think} \ + (\underline{\chi})$: 私は(\underline{\chi}) と思います。 want to \sim : (~したい)

書き方のヒント!!)

文を続けて書くときのヒント!

- 1. 5W1H(だれが・いつ・どこで・何を・なぜ・どのように) を意識して文を考え、作ってみよう!
- 2. 一つ前の文に関係する文を考えて書くと、流れがよくなるよ!
- 3. and, but, because などが使えそうなら、積極的に使おう!
- 4. これきで学んだことをフル活用して、英文を作ってみよう!

【~しました・などの動詞】

played: ~した watched: 見た listened to ~: ~を聞いた used: ~を使った studied: 勉強した helped: 手伝った visited: ~を訪れた enjoyed: 楽しんだ

 $**went to \sim : \sim \sim$ 行った $**got : \sim$ をもらった $**ate : \sim$ を食べた

**was \sim : \sim だった (is, am の過去形) **Were \sim : \sim だった (are の過去形)

【 \sim (だれ) と一緒に・の表現】 $with \sim を使おう!$

with my friends(family / brother / sister / him / her/) 友達と 家族 兄(弟) 姉(妹) 彼 彼女

【いつ? 時間などの表現】<u>in, at, on, after, before</u> などを使おう!

<u>in</u> the morning(afternoon / evening) : 朝(午後・夕方)<u>に</u> <u>at</u> noon(seven) : お昼(7時)<u>に</u> <u>on</u> Monday : 月曜日<u>に</u> <u>after</u> / <u>before</u> breakfast(dinner) : 朝食(夕食)<u>後に</u> / <u>前に</u>

【どこ? 場所を表す表現】<u>in</u>, <u>to</u>, <u>at</u> などを使おう!

<u>in</u> Haramachi: 原町で <u>to</u> Tokyo : 東京へ <u>at</u> home : 家で

【どのくらい? 程度を表す表現】気持ちを伝えよう!

very much: とても always: いつも hard: 一生懸命に

※これ以外にもたくさんの表現があります。教科書・ワーク・資料集を活用しよう!

7 SENTENCE WRITING!! (生徒用)

○夏休みに体験したことや、それについて感じたことや思ったことを英語で書り	71,
みよう!モデル文を参考に!文と文のつながりや語順に注意しよう!	

1. I'm going to talk about my summer vacation.
(夏休みのことについて話します。)
2. <u>I</u> went <u>to Niigata</u> with my family,
because my children love the sea and fishing.
(<u>私は</u> 家族と一緒に <u>新潟へ</u> 行きました、 <u>なぜなら</u> 子どもたちが水泳とつりが大好きだからです。)
3. We stayed there <u>from August 6 to 8</u> .
(私たちは8月6日から8日までそこで過ごしました。)
4. We swam and went fishing in the morning.
(午前中は、泳いだり、つりをしました。)
5. We saw many fish <u>in the sea</u> ,
but we couldn't get them.
(海ではたくさんの魚を見ましたが。採ることはできませんでした。)
6. In the afternoon,
we enjoyed BBQ and fireworks very much.
(夕方は、バーベキューや花火をとても楽しみました。)
7. I think we can go to Niigata next year,

【ワードバンク!!・ヒント集】

L4. (4行目) <u>swam</u> : (泳いだ・swim の過去) L5. <u>get</u> : (とる・ゲットする)

L6.<u>BBQ</u> : (バーベキュー)

L7. $\underline{I \ think} \ + (\underline{\chi})$: 私は(文)と思います。 $\underline{want \ to} \sim : (\sim l \ the constraints)$

(裏面へ! 書き方のヒント!!)

and we want to try many things.

(来年も新潟へ行き、多くのことに挑戦したいと思います。)

7 SENTENCE WRITING!!

1		
2. <u> </u>	(
	(
3	(
4	(
5		
6		
7	(
8	(
	(
9	(
10	(

授業振り返りカード(4段階)

1.	1. 画面上の本文にあわせて、大きな声ではっきりと読む練習ができましたか?			
	とてもよくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
	Α	В	$oldsymbol{c}$	D
2 .	音と単語のつづりを理解し	、正しく書くこと	ができましたか?	
	とてもよくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
	A	В	\boldsymbol{c}	D
3.	Q&Aでは、相手にわかる	ように質問をたず	ねることができました	<u>か?</u>
	とてもよくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
	A	В	\boldsymbol{c}	D
4.	Q&Aでは、質問の答えを	·語順に気をつけて	正しく書くことができ	<u> きしたか?</u>
	とてもよくできた	まあまあできた	あまりできなかった	 ぜんぜんできなかった
	A	В	\boldsymbol{c}	D
(-	-ロメモ・授業の感想をどう	ど!)		
Ī				
	自分の文章を	医自己部	呼価しよう	! (4段階)
				! (4段階)
	5W1Hの項目を入れて文	章を書くことがで	きましたか?	
	5W1Hの項目を入れて文	章を書くことがで まあまあできた	<u>きましたか?</u> あまりできなかった	! (4.長文作者) ぜんぜんできなかった
1.	5W 1 Hの項目を入れて文 とてもよくできた A	章を書くことがで まあまあできた B	<u>きましたか?</u> あまりできなかった <i>C</i>	
1.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え	章を書くことがで まあまあできた B て書けましたか?	<u>きましたか?</u> あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D
1.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え	章を書くことがで まあまあできた B .て書けましたか? まあまあできた	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった	
<u>1.</u>	5W 1 Hの項目を入れて文 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A	章を書くことができた まあまあできた B .て書けましたか? まあまあできた B	<u>きましたか?</u> あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D
<u>1.</u>	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま	章を書くことができた まあまあできた B て書けましたか? まあまあできた B	<u>きましたか?</u> あまりできなかった C あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
<u>1.</u>	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま	章を書くことができた まあまあできた B で書けましたか? まあまあできた B したか? まあまあできた	<u>きましたか?</u> あまりできなかった C あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
1. 2.	5W 1 Hの項目を入れて文 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた	章を書くことができた まあまあできた B て書けましたか? まあまあできた B したか? まあまあできた B	<u>きましたか?</u> あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
1. 2.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
1. 2.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C けましたか? あまりできなかった	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
1. 2. 3.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など とてもよくできた A	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書 まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D
1. 2. 3.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書 まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C けましたか? あまりできなかった	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった
1. 2. 3.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など とてもよくできた A	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書 まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C けましたか? あまりできなかった	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった
1. 2. 3.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など とてもよくできた A	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書 まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C けましたか? あまりできなかった	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった
1. 2. 3.	5W 1 Hの項目を入れて交 とてもよくできた A 前の文にかかわる文を考え とてもよくできた A 一番言いたいことが書けま とてもよくできた A and や, but, because など とてもよくできた A	章を書くことができた まあまあできた B. て書けましたか? まあまあできた B: したか? まあまあできた B の単語を使って書 まあまあできた B	きましたか? あまりできなかった C あまりできなかった C あまりできなかった C けましたか? あまりできなかった	ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった D ぜんぜんできなかった

英語科学習指導案 第1時 1/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - ○教科書p.34のマザーテレサの活動内容について知り、画面上の本文と音声を確認し、単語やチャンクを正しいつづりで書くことができる。
 - ○本文の内容についての質問に英語で答え、正しい語順で解答を書くことができる。
- 3 準備

パソコン、プロジェクター、ワークシート、自己評価カード

4	展 開		
時	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
間		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」
			B:「おおむね満足」
5	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、マザーテレサに関する質	
	○ウォームアップ	問を投げかけ、関心を高めさせる。	
	○本文の提示		
	(音声と文字言語の一致を図る	る。(音声と文字言語の一致・聞く+書く)	
	・リスニング	◎最初は音声のみの聞き取りから始め、その後スク	○画面上の文字と音
	・新出単語・熟語の確認	リーンに文字と音声を同時に提示する。最初はス	声を確認しながら、
	・リーディング	ラッシュごとに、その後で、各文ごとに文字と音	音読練習を行って
	(スラッシュ/文)	声を段階的に提示し、読みの練習を行う。	いる。
	○単語・チャンクの	◎文字と音声を一致させ、画面上にフラッシュする	○ワークシートの空
20	ディクテーション	単語やチャンクを正しく書くことができるように	欄に、正しいつづ
		する。	りで単語やチャン
	◎資料1◎	◎1度で書き取れない場合には、2度、3度英語を	クを書くことがで
	Listening &	聞かせる。	きる。
	Dictation!!	▲:画面に映す回数を増やしたり、個別にヒントを	
		与えるなどの支援を行う。	A:ワークシートの空 欄を80%以上正しい
			一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
			B:空欄を50%以上正
			しいつづりで書け る。
	○本文の内容理解		
	チャンクを基にして文を作る	る。(英問英答活動・ 話す+書く)	
	ペア活動	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答え	○チャンクを基にし
	・解答文の作成	させる。	て、解答文を正し
18		◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場	い語順で書くこと
	◎資料4、5、10◎	合には、さらにチャンクを組み合わせることに気	
	●具作4、5、10回 *Answer Making!!	付かせる。	
	•QuickQuestions and	▲:ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように	A:解答文を正しい語
	Answers!!	活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。	順で2文以上書ける。
			B:解答文を正しい
			語順で1文書ける。
	○自己評価	◎本時の学習活動で、できるようになったことや学	
7	○あいさつ	んだことを自己評価カードに記入する。	
	⊘ ₩17 ⊘		
	◎資料17◎ ・授業振り返りカード		
	12米版リ返りルート		

英語科学習指導案 第2時 2/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - ○教科書p.35のマザーテレサの活動内容について知り、画面上の本文と音声を確認し、単語やチャンクを正しいつづりで書くことができる。
 - ○本文の内容についての質問に英語で答え、正しい語順で解答を書くことができる。
- 3 準備

パソコン、プロジェクター、ワークシート、自己評価カード

時間	\\ \ == \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
削	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」 B:「おおむね満足」
5	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、前時で学習した、マザー	2 1 10 10 3 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
	○ウォームアップ	テレサに関する質問を投げかけ、関心を高めさせ	
		る。	
	○本文の提示	<u> </u> 3。(音声と文字言語の一致・聞く+書く)	
	・リスニング	○最初は音声のみの聞き取りから始め、その後スク	○画面上の文字と音
	・新出単語・熟語の確認	リーンに文字と音声を同時に提示する。最初はス	· ·
	・リーディング	ラッシュごとに、その後で、各文ごとに文字と音	音読練習を行って
	(スラッシュ/文)	声を段階的に提示し、読みの練習を行う。	いる。
20	○単語・チャンクの	◎文字と音声を一致させ、画面上にフラッシュする	
20	ディクテーション	単語やチャンクを正しく書くことができるように する。	欄に、正しいつづ りで単語やチャン
		○1度で書き取れない場合には、2度、3度英語を	
	◎資料 2 ◎	聞かせる。	きる。
	• Listening &	▲:画面に映す回数を増やしたり、個別にヒントを	A:ワークシートの空
	Dictation!!	与えるなどの支援を行う。	欄を80%以上正しい
			つづりで書ける。
			B:空欄を50%以上正
			しいつづりで書ける。
			- No 0
	○ <u>本文の内容理解</u>		
	(エ、) カナサルトマナナル		
	チャンクを基にして文を作る		○チャンカを其にし
	・ペア活動	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答え	
18			て、解答文を正し
18	・ペア活動	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答え させる。	て、解答文を正し い語順で書くこと
18	・ペア活動 ・解答文の作成 ②資料 6 、 7 、 11 ② ・Answer Making!!	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。	て、解答文を正し い語順で書くこと ができる。 A · 解答文を正しい語
18	・ペア活動 ・解答文の作成 O資料 6、7、11の ・Answer Making!! ・QuickQuestions	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。▲:ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように	て、解答文を正し い語順で書くこと ができる。 A · 解答文を正しい語
18	・ペア活動 ・解答文の作成 ②資料 6 、 7 、 11 ② ・Answer Making!!	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。	て、解答文を正しい語順で書くことができる。A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。B:解答文を正しい
18	・ペア活動 ・解答文の作成 O資料 6、7、11の ・Answer Making!! ・QuickQuestions	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。▲:ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように	て、解答文を正しい語順で書くことができる。 A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。
	・ペア活動 ・解答文の作成 O資料 6、7、11の ・Answer Making!! ・QuickQuestions and Answers!!	 ◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。 ◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。 ▲: ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。 ◎本時の学習活動で、できるようになったことや学 	て、解答文を正しい語順で書くことができる。A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。B:解答文を正しい語順で1文書ける。
	・ペア活動 ・解答文の作成 O資料6、7、11の ・Answer Making!! ・QuickQuestions and Answers!!	 ◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。 ◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。 ▲:ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。 	て、解答文を正しい語順で書くことができる。A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。B:解答文を正しい語順で1文書ける。
	・ペア活動 ・解答文の作成 ②資料 6、7、11② ・Answer Making!! ・QuickQuestions and Answers!! ○自己評価 ○あいさつ	 ◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。 ◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。 ▲: ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。 ◎本時の学習活動で、できるようになったことや学 	て、解答文を正しい語順で書くことができる。A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。B:解答文を正しい語順で1文書ける。
	・ペア活動 ・解答文の作成 O資料 6、7、11の ・Answer Making!! ・QuickQuestions and Answers!!	 ◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答えさせる。 ◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場合には、さらにチャンクを組み合わせることに気付かせる。 ▲: ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。 ◎本時の学習活動で、できるようになったことや学 	て、解答文を正しい語順で書くことができる。A:解答文を正しい語順で2文以上書ける。B:解答文を正しい語順で1文書ける。

英語科学習指導案 第3時 3/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - ○教科書p.36のマザーテレサの活動内容について知り、画面上の本文と音声を確認し、単語やチャンクを正しいつづりで書くことができる。
 - ○本文の内容についての質問に英語で答え、正しい語順で解答を書くことができる。
- 3 準備 パソコン、プロジェクター、ワークシート、自己評価カード

_	12(1/1)	<u> </u>	,
時	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
間		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」
			B:「おおむね満足」
5	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、前時で学習した、マザー	
	○ウォームアップ	テレサに関する質問を投げかけ、関心を高めさせ	
		5.	
	○本文の提示	.∾ ∘	
		(立志し立字章語の、砂、 問/ (事/)	
	-	る。(音声と文字言語の一致・聞く+書く)	○ 東去しの本点し立
	・リスニング	◎最初は音声のみの聞き取りから始め、その後スク	
	・新出単語・熟語の確認	リーンに文字と音声を同時に提示する。最初はス	
	・リーディング	ラッシュごとに、その後で、各文ごとに文字と音	
	(スラッシュ/文)	声を段階的に提示し、読みの練習を行う。	いる。
	○単語・チャンクの	◎文字と音声を一致させ、画面上にフラッシュする	
20	ディクテーション	単語やチャンクを正しく書くことができるように	○ワークシートの空
		する。	欄に、正しいつづ
		◎1度で書き取れない場合には、2度、3度英語を	りで単語やチャン
	◎資料3◎	聞かせる。	クを書くことがで
	Listening &	▲:画面に映す回数を増やしたり、個別にヒントを	きる。
	Dictation!!	与えるなどの支援を行う。	
		770 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A:ワークシートの空
			欄を80%以上正しい つづりで書ける。
			していりで書りる。
			B:空欄を50%以上正
			しいつづりで書け
			る。
	○本文の内容理解	(+B+kk x 5) = 7 + 1 + 1)	
	チャンクを基にして文を作る		
	・ペア活動	◎ワークシートに書かれた本文についての質問に答え	
	・解答文の作成	させる。	て、解答文を正し
18		◎会話はチャンクだけでも成立するが、文を書く場	
	◎資料8、9、12◎	合には、さらにチャンクを組み合わせることに気	ができる。
	-Answer Making!!	付かせる。	A:解答文を正しい語
	 QuickQuestions 	▲:ヒントとなるチャンクを複数あげ、どのように	
	and Answers!!	活用すれば文になるか、個別にヒントを与える。	- but total () >
			B:解答文を正しい 表順で1 文書はる
			語順で1文書ける。
	○自己評価	◎本時の学習活動で、できるようになったことや学	
7	○あいさつ	んだことを自己評価カードに記入する。	
'			
	◎資料17◎		
	・授業振り返りカード		
	22 1211 122 122 12		

英語科学習指導案 第4時 4/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - ○本文の概要を理解し、マザーテレサの活動や業績について、自分の感想を簡単な英語で書くことができる。
 - ○マザーテレサの生き方について、感想や意見をまとめ、グループで感想を述べることができる。
- 3 準備 パソコン、プロジェクター、ワークシート

時	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
間		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」
			B:「おおむね満足」
	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、前時で学習した、マザー	
10	○ウォームアップ	テレサに関する質問を投げかけ、関心を高めさせ	
	○前時の復習	る。	
	○概要の確認		
	(チャンクを基にして文を作る	る。(概要文の作成・ 読む+書<)	
	・リスニング	◎前時までに作成した英問英答のワークシートを参	
	・既習単語・熟語の確認	考にしながら、課全体の復習と概要を確認する。	
	・リーディング		
		◎ワークシートにあるチャンクをヒントに、マザー	
	いての感想文の作成	テレサの生き方について、自分の感想や意見を簡	
20		単な英文で作成する。	くことができる。
		◎ワークシート以外からもヒントを見付け、英文を	A・窓芯て息元を正し
		作成するよう、指示する。	い表記で5文以上書 ける。
		▲: チャンクや、主語と動詞の組み合わせに着目さ	() る。
		せて、英文を作成するようヒントを与える。	B:感想や意見を正し
			い表記で3文以上書
			ける。
	○六次江科		
	○交流活動 グループでマザーテレサに	ンいての意見を述べる。(意見交流・ 話す)	
	・ペア活動	<u> </u>	○ガループ内で自分
	・グループ活動	見を英語で言えるよう、個人で練習を行う。	の感想や意見を簡
13	7 / 7 1G 39)	○最初はペアで意見交流を行った後、グループを作	10.10 1, 10.70 0 1.11
10		り、それぞれの意見を交流させる。	とができる。
		▲: 意見をあまり言えない生徒については、単文を	
		複数組み合わせたり、その理由を簡潔に述べた	
		りするよう、言葉がけを行い、支援する。	
	○次時の予告	◎本時の学習活動で、できるようになったことや学	
7	○あいさつ	んだことを確認し次回の予告をする。	

英語科学習指導案 第5時 5/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - \bigcirc 5 W 1 H の視点で書かれたモデル文を読み取り、それを参考に、自分の体験したことを英文で書くことができる。
 - ○モデル文を参考にして、感じたことや思ったことなどの情報を含んだ英文を書くことができる。
- 3 準備 パソコン、プロジェクター、ワークシート、自己評価シート、辞書、参考資料など

時	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
間		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」
			B:「おおむね満足」
	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、前時で学習した、マザー	
10	○ウォームアップ	テレサに関する質問や、夏休み中の体験や思い出	
		についての質問を投げかけ、関心を高めさせる。	
	○モデル文の提示		
	(5W1Hの視点から、文の液	たれを理解する。(モデル文の活用・ 読む+書<)	
	• 音読練習	◎モデル文を配布し、音読練習を行う。	○モデル文の内容を
15	・モデル文の内容理解	◎内容理解を行う祭、モデル文の情報が5W1Hの	理解し、書くポイ
		視点で書かれていることに気付かせる。	ントを把握してい
			る。
	◎資料13~15◎		
	•7 Sentence Writing!!		
	○書く内容について考える		
		夏休みの思い出について書く内容を考える。	
		(モデル文の活用・ 書く)	
		◎モデル文を参考に、5W1Hの視点で、自分が夏	
18		休みに経験したことについて、より多くの情報が	して、5W1Hの
		入れた文章になるよう、おおまかな内容を考える。	視点で夏休みの思
		▲:学校行事や休み中の生活などを振り返らせるな	い出について書く
		ど、個別にヒントを与え、内容をふくらませる。	内容を考える。
	◎資料16◎		A:英文の内容が、5
	•7 Sentence Writing!!		W1Hの視点にそっ
			てより多くの情報で 書かれている。
			EW.40CA.Q°
			B:自分の伝えたいこ
			とが書かれている。
	○次時の予告	◎本時の学習活動で、できるようになったことや学	
7	○あいさつ	んだことを確認し次回の予告をする。	

英語科学習指導案 第6時 6/6

- 1 題材 「PROGRAM 4 With Love and with Joy」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂出版)
- 2 学習目標
 - ○前時に作成したメモシートを使って、5W1Hの視点に基づいた文章を書くことができる。
 - ○グループで、相手に伝わるように作成した文章を発表することができる。
- 3 準備 パソコン、プロジェクター、ワークシート、自己評価カード、辞書、参考資料など

4	茂用		
時	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫	○具体の評価規準
間		(▲:「おおむね満足」に達していない生徒への支援)	A:「十分満足」 B:「おおむね満足」
	○あいさつ	◎ウォームアップの中で、夏休みの思い出について	D. 「おおりなる何だ」
7	○ウォームアップ	の質問(英語または日本語で)を行い、書くこと	
	○前時の復習	についての意欲を高める。	
	○作文活動		
	<u>(つなぎ言葉などを用いた作力</u>	文活動(モデル文の活用・読む+書く)	
		◎前時に作成したメモシートを参考にして、文章を 構成する。	○作成された又草か、5W1Hの視点で
	○文章の推敲	悔成りる。 ◎正しい表記で、チャンクを組み合わせながら文を	V = · · · ·
	○ 入 中 ♥ 月 日	作成するよう伝える。	記で英文が書けて
		◎5W1Hの視点でなるべく多くの情報を文章に入	
30		れるように指示をする。	
		◎文章が作成できたら、5W1Hの視点で英文が書	44 1 22 4 2 4 4 5
		かれているかの確認を行い、自分の文章の見直し	A:英文が正しい表記 で、5W1Hの視点
		をさせる。 ▲:前時で作成したメモを参考に、チャンク単位で	の情報を含んだ7文
		英語に直していくように支援する。	以上で書けている。
		XIII CE C C C C C C C C C C C C C C C C C	B:正しい表記で、5
			文以上の英文が書け ている。
	○交流活動 (Nエンの大変なまれる)	**************************************	
10	(お互いの文章を読み合い、† ・作品をグループで読み合	青報交換する。(作品の活用・ 読む) □②作品をグループで読み合い、簡潔に感想を述べる。	○他の生徒の文章を
10	い、感想を簡潔に述べる。	◎他の生徒の文章を読んで、どんな視点でコメント	
		したりアドバイスしたりすればよいか、事前に具	
		体的に説明しておく。	ことができる。
		▲:自分の文章が完成していなくても、友だちの作	
		品のよかった部分を積極的に見つけるように支	
		援する。	
	○自己評価	 ◎本時の学習活動で、できるようになったことや学	
5	○あいさつ	んだことを自己評価カードに記入する。	
	◎資料17◎		
	・自分の文章を自己		
	評価しよう!!		